



社会福祉法人 御前崎厚生会  
 特別養護老人ホーム 灯光園  
 電話 (0548)63-3729(代表)  
 FAX 63-4131  
 灯光園デイサービスセンター  
 63-6002  
 灯光園在宅介護支援センター  
 63-5116  
 灯光園居宅介護支援事業所  
 63-5115



## 秋から冬へ

施設長 澤島久美子

“ 秋から冬への季節になりました。温かい秋ですね。恒例の芋ほりをし、焼き芋をみんなで食べました。

密はいけないということなので、今年は少人数ずつでの芋ほりも行ったり来たりです。どちらもいいお天気に恵まれ、楽しむことができました。ビニールズボンをはき、作業用の手袋をはめて畑におります。「今年のお芋はどうか？」わくわくした表情を見て、私たちも自然と笑ってしまいます。お芋を手にして大きな口を開けて笑う姿、これこそ元気が取り柄の灯光園です。

楽しい・嬉しい・おいしい表情の写真を撮ることができました。なかなか会えないご家族に送ります。



### 灯光園デイサービスセンター紹介

植田 好子

灯光園デイサービスでは、海、風、光の3つのユニット(部屋)で気の合う仲間と共に、明るく和やかな雰囲気です。1日を過ごしています。

利用者の中には、「高齢になると好きなことや今まで当たり前に行っていたことができなくなり、手伝わってもらわなければ何もできない。」「若い時のように上手にできないので、何もしたくない。」と感じていらっしやる方もいます。

灯光園デイサービスでは、趣味活動を大切にしています。高齢になり、できないことが増えたとマイナスの思いを感じてしまふのではなく、手を借りる部分もあるが、自分は自分らしく素敵な人生を過ごしている。と感じていただけることを目標に支援をしています。今まで自分のために使うことができな

かった趣味を行う時間、苦手だったことや今までやってこなかったことにチャレンジしてみる時間など、一人ひとりの時間を大切にし、喜びや自信を感じることができるよう声かけやきっかけづくりを行っています。今年度はユニットごとの調理活動に力を入れることが目標の一つでした。しかし、コロナウイルス感染症が流行し、感染症予防のため、調理活動を行うことを控えていました。検討を重ね、感染症予防を行ったうえで、調理活動を実施しました。活動中、利用者が野菜をトントんと、リズムのよい音を響かせながら切ってくれました。金山寺作りです。「昔は山のように作ったよ。」と、みんなのおしゃべりがとても弾んでいたことが印象的な時間でした。私達職員は、大先輩に作り方や調理のコツなどを教えてもらう時間にもなりました。利用者も職員がともに楽しい時間を過ごすことができたと感じています。



私たちデイサービスでは、一人ひとりの「今」を大切に職員として何ができるのか、利用者とはどんなことを望んでいるのか、どんな時に目が輝き、どんな時に素敵な笑顔を見せてくれるのかを常に考えています。その一方で、利用者の「今」だけでなく、利用者一人ひとりの「未来」がより良くなるような視点を忘れず、利用者とともに笑顔あふれる楽しい時間を共に過ごしたいと思っています。

### 灯光園デイサービスセンター 心む俳句教室

畑帰りの坂道  
リヤカーの滑り台で  
ゆつくり行く

KOさん

ドンボり夢中になった  
遠い日々

SSさん

昔の味どんぐりしいの実  
なつかしい

MSさん

くじみ黒鯛思い出の浜の  
魚釣り

KKさん

帰船して畑仕事も待っていた  
めじろしめ飼うとかわいい顔  
思い出す

STさん

SYさん  
地域の運動会さらしの肌襦で  
楽しんだ

KYさん



### リモート面会に挑戦!

入居者家族 鈴木久美子

私の母は、灯光園に入所して4年になります。進行性の難病を患っているため、一人暮らしが困難となり、入所することになりました。灯光園は母の自宅

から、私の家からも少し遠方にあるため、せめて週に1度は母に顔を見せたいと思い、入所してから今まで、母との面会を続けてきました。そのような中、新型コロナウイルス感染対策のため、面会が制限されるようになりました。

当初、面会制限が始まった母との面会は何と続けていきました。しかし、だんだん体を動かすことが困難になっていくにつれて、車いすに移乗して1階に降り、座ったまま私と話すことはとても大変そうでした。私も面会に行くことがためらわれるようになっていました。そんなとき、リモート面会が

できるというお知らせが届きました。私自身はリモートを使ったことはなかったのですが、主人に教えてもらい、自宅のタブレットを使って母との面会に挑戦しました。

母もリモート面会を心待ちにしていたようで、その日は早くから介護士さんの手をかりて灯光園のパソコンの前で座っていただくことができました。リモート面会中は母の顔をよく見え、声もはっきりと聞き取ることができました。車いすに座っていたため、長時間話すことはできませんでしたが、少しでも母の負担が軽くてすんだのならよかったです。

先日、愛知県にいる私の妹も母とリモート面会をしました。「お母さんに会えるのはもつと先のことになると思っていたから、顔を見ることができてよかった。娘（母にとって孫）が話しかけたら笑っていたよ。」と、妹がうれしそうに報告して



10月19日、福祉車両が配備されました。中電から市に配備された車両を灯光園で使わせていただきます。

### 福祉車両配備

くれました。次は、母と妹と私の3人でリモート面会をしたいと考えています。いつかまた、安心して直接会える日を心待ちにしながら・・・。

### 編集後記

リモート面会、やってみると以外に簡単ですよ。私も、故郷の父母と、離れて暮らす兄弟と、4か所でリモート面会しました。みんなの笑顔が見られてとても安心しました。もうすぐお正月ですね。新しい生活様式で迎える初めてのお正月です。いつもと違うことを楽しみたいですね。固定観念にとらわれず、何かにチャレンジするチャンスかもしれませんね。

### 灯光園デイサービス

(十月)

- 川口 節子様(絵手紙) 一回
- 鈴木 喜夫様(俳句教室) 一回

ボランティア活動  
〜ありがとう〜